

春日部市立武里西小学校

お茶育体験

みんな濃さが均等になるように…
う〜ん
結構難しい…



あれ??!!甘い?
おいしい!!苦くない!

第5学年

特色

- 県の特産である狭山茶の歴史や特徴、製造方法やお茶の淹れ方など、多くの資料を使ってわかりやすく教えていただくことができました。また、家にお茶を淹れる習慣のない児童が増えているなか、急須や湯冷まし、湯飲み茶碗など、全ての器具を持って来ていただいたため、家庭では経験できない授業となりました。意図的に日本の伝統や作法を体験させ大切にしていける機会を持つことの重要性を改めて感じる時間になりました。

児童の感想

- お茶育の授業で苦くないおいしいお茶を飲みました。急須でお茶をいれるとお湯の温度によってお茶の味が変わるので、飲む人の好みに合わせていられる事を知りました。容器に入れ替えるとお湯の温度が10℃冷めることを教わったので、低い温度でテアニンがたくさん出ている甘いお茶を妹に、熱いお湯でカテキンがたくさん出ている苦いお茶をおばあちゃんに入れてあげたいです。
- お茶ってすごいと思いました。飲めば体に良いし、飲み終わった後の茶殻も掃除に使えると教えていただきました。また、急須でお茶をいれると、家族にありがとうという気もちも入れてあげられることができました。

成果

- お茶育の授業をしていただいたのが、12月だったこともあり、児童は冬休み中に家庭で実践する機会が多くあったようです。今まで、日本茶に興味がなかったり、お茶といったらペットボトルのものを飲むといったりする児童がほとんどでした。しかし、お茶育の授業の後には、「自分の家にあるお茶はどこのお茶なのか気になって調べてみた」という児童や、「自宅にあるお茶と親戚の家で飲んだお茶の味の違いが気になった」という児童が増えていました。